

2024 年 6 月 19 日

お得意様 各位

東関東生コン協同組合

JIS A 5308 改正に伴う「納入書」及び「配合計画書」の様式変更のお知らせ

拝啓 貴社益々御清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、標題の件、本年 3 月 20 日付で JIS A 5308（レディーミクストコンクリート）が改正されました。この改正により「レディーミクストコンクリート納入書」及び「レディーミクストコンクリート配合計画書」の様式が変更されます。

改正 JIS への移行は 6 か月の猶予期間が設けられておりますが、弊協組加盟工場は JIS A 5308：2024 の運用を 9 月 1 日より開始致しますので、ご案内申し上げます。

なお、「納入書」と「配合計画書」の主な変更点は、下記のとおりとなりますので、よろしくお願い致します。

敬具

記

1. 納入書の主な変更点（別紙① 納入書 参考例）

- (1) 「安定化スラッジ水の使用の有・無」の欄が「スラッジ水の使用方法」に変更されました。
- (2) 配合の種別の表示順が変更されました。
- (3) 「荷受職員の認印又はサイン」および「出荷係の認印又はサイン」欄が「荷受職員の署名又は記名」および「出荷係の署名又は記名」に変更されました。

2. 配合計画書の主な変更点（別紙② 配合計画書 参考例）

- (1) 新たに「舗装コンクリートの強度試験方法」欄が設けられました。
- (2) 「水セメント比の目標値の上限」欄が「水セメント比及び／又は水結合材比の目標値の上限」に変更されました。
- (3) 「水の区分」欄が「水の種類」に変更されました。
- (4) 「流動化後のスランプ増大量」欄が「流動化後のスランプ又はスランプフローの増大量」に変更されました。
- (5) 「安定化スラッジ水の使用の有・無」の欄が「スラッジ水の使用方法」に変更されました。

3. 適用開始日

2024 年 9 月 1 日より、「レディーミクストコンクリート納入書」は出荷分から、「レディーミクストコンクリート配合計画書」は提出分から適用致します。

また、8 月 31 日までに提出した配合計画書は有効ですので、再提出は行いませんのでご理解をお願いします。

以上

納入書の例 (JIS A 5308 : 2024)

レディーミクストコンクリート納入書

JIS

年 月 日

現場前車番

車 番

納入台数

台

納入先

殿

納入場所

納入時刻

発

時 分

着

時 分

納入容積

m³

累計納入容積

m³

呼び方

コンクリートの種類による記号

呼び強度

スランプ又はスランプフロー (cm)

粗骨材の最大寸法 (mm)

セメントの種類による記号

配合表

kg/m³

セメント

混和材

水

細骨材①

細骨材②

細骨材③

粗骨材①

粗骨材②

粗骨材③

混和剤①

混和剤②

水セメント比

%

水結合材比

%

細骨材率

%

スラッジ固形分率

回収骨材置換率

細 骨 材

粗 骨 材

スラッジ水の使用方法

備 考

配合の種別：

□計量印字記録から自動算出した単位量

□計量印字記録から算出した単位量

□計量読取記録から算出した単位量

□修正標準配合

□標準配合

荷受職員の署名又は記名

会社名住所

出荷係の署名又は記名

東関東生コン協同組合

⑧ ⑨

生コンは契約以外の混和材料を添加した場合は、品質の保証はできません。生コンは強アルカリのため、皮膚や目に触れると炎症をおこすことがあります。

別紙⑦

配合計画書の例（JIS A 5308-2024）

レディーミクストコンクリート配合計画書										No. _____	
_____ 殿										年 月 日	
製造会社・工場名										配合計画者名	
工事名称											
所在地											
納入予定時期											
本配合の適用期間											
コンクリートの打込み箇所											
配合の設計条件											
呼び方		コンクリートの種類による記号		呼び強度		スランプ又はスランプフロー cm		粗骨材の最大寸法 mm		セメントの種類による記号	
指（定） （必） （事） （項）	セメントの種類		呼び方欄に記載				粗骨材の最大寸法		呼び方欄に記載		
	骨材の種類		使用材料欄に記載				アルカリシリカ反応抑制対策の方法				
指（定） （任） （意） （項）	骨材のアルカリシリカ反応性による区分		使用材料欄に記載				軽量コンクリートの単位容積質量		kg/m ³		
	舗装コンクリートの強度試験方法		曲げ強度・圧縮強度				コンクリートの温度		最高・最低 °C		
	水の種類		使用材料欄に記載				水セメント比及び／又は水結合材比の目標値の上限		%		
	混和材料の種類及び使用量		使用材料及び配合表欄に記載				単位水量の目標値の上限		kg/m ³		
	塩化物含有量		kg/m ³ 以下				単位セメント量の目標値の下限又は目標値の上限		kg/m ³		
	呼び強度を保証する材齢		日				流動化後のスランプ又はスランプフローの増大量		cm		
	空気量		%								
使用材料											
セメント		生産者名				密度 g/cm ³				Na ₂ Oeq %	
混和材		製品名		種類		密度 g/cm ³				Na ₂ Oeq %	
骨材	No.	種類	産地又は品名	アルカリシリカ反応性による区分		粒の大きさの範囲	粗粒率又は実積率	密度 g/cm ³		微粒分量の範囲 %	
				区分	試験方法			絶乾	表乾		
細骨材	①										
	②										
	③										
粗骨材	①										
	②										
	③										
混和剤①		製品名		種類				Na ₂ Oeq %			
混和剤②											
細骨材の塩化物量		%		水の種類				目標スラッジ固形分率		%	
回収骨材の使用方法		細骨材				粗骨材		スラッジ水の使用方法			
配合表 kg/m ³											
セメント	混和材	水	細骨材①	細骨材②	細骨材③	粗骨材①	粗骨材②	粗骨材③	混和剤①	混和剤②	
水セメント比		%		水結合材比		%		細骨材率		%	
備考 骨材の質量配合割合、混和剤の使用量については、断りなしに変更する場合がある。 スラッジ固形分をコンクリートの容積に含める場合、水の単位量は“水の質量”と“固形分の質量”とに分けて記入する。 運搬時間の限度を変更した場合： 時間											